

## 堺市下水道事業長期構想策定に関する調査研究

全体期間

2005.6～2007.3

### (目 的)

本業務は、今後の堺市下水道事業の羅針盤ともなるべき長期構想の策定を支援することを目的として実施したものである。

実施にあたっては、堺市における下水道事業の現状と計画を整理し、今後の事業の進め方について検討するとともに、学識経験者等で構成する堺市下水道事業長期構想策定懇話会（座長：小山修平大阪府立大学教授、設置者：堺市）において意見をいただき、構想をまとめた。さらに、市民のニーズを反映した構想とすべく、水環境や下水道事業に関する市民アンケートを多数実施した。

### (結 果)

#### (1) 市民アンケート結果

市政モニター498人及び内川・土居川まつりで151人にアンケートを実施した。設問は3つのカテゴリー(水環境・下水道事業・自由意見)に分けて行い、傾向は以下のとおりであった。

##### ①水環境について

以前に比べて悪くなっていると感じている市民が多数を占め、「身近で、きれいで、安全な」水辺が欲しいとの意見が多数を占めていた。

##### ②下水道事業について

従来の役割と今後の役割の認知度並びに事業実施要望度とともに、情報量及び事業の進め方などについて設問した。その結果、多くの市民が汚水整備・浸水対策に加え、資源の有効利用や地震対策についても強く要望していることがわかった。

##### ③情報発信について

不足していると考えている方が多数を占めた。また、今後事業を進めるに当たり、計画段階から市民が何らかの形で参画すべきという意見が多数を占めた。

#### (2) 基本コンセプト

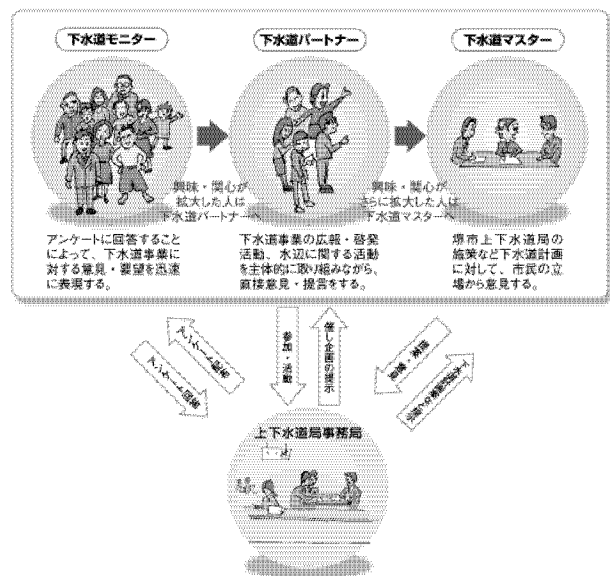
基本コンセプトは、市民参加意識の高い堺市らしさを盛り込み、市民と行政の連携を基本理念とするとともに、理念を具現化するための「下水道会合衆」の設立を提唱した。

行動理念は、「みずから治めるまちの再生」と題して、～自由と自治の伝統を活かした「魅力ある下水道」の実現～を目指すものとした。

施策の方針としては以下のとおりとした。

- ① 安全な暮らしを守り続ける下水道の実現
- ② きれいで豊かで身近な水環境の創造
- ③ 市民と行政の連携と役割分担による下水道事業の展開

### “下水道会合衆”と行政



堺市からの受託研究

研究担当者：藤木 修，小野田 吉恭，伊藤 昭彦，秋葉 竜大

キーワード

市民協働，長期構想